

西東京教区だより 第43号



(右上) 5月26～27日、西東京教区総会・挨拶を執行
 (左上) 年齢層豊かな教区派遣ボランティア参加者（6月24～28日まで）
 第10次第3回ボランティア
 (左下) 3月20日、全体研修会のメインスピーカー・佐藤彰牧師の熱く深い
 講演
 3月9日、教区チャリティーコンサート・東日本大震災の痛みを覚え
 る時を過ごしました

卷頭言

教区議長として

西東京教区総会議長 真壁 嶽



第28回定期教区総会において教区議長に選出されました真壁嶽です。初代の大宮溥議長から数えて5代目となります。教区設立時より常置委員を5期10年、副議長を2期4年務めてきましたが、改めて諸教会に仕える「教区議長！」という責任の重さに戸惑いを覚えています。

議長に選出された直後、私は議場での挨拶で二つのことを述べました。まず「教区設立に携わった者として設立当初の志に基づいて務めること」、そして「私のような者に教区の重責を担わせられた神様は、きっとその責任をとってくださるはず！」ということです。「神様がその責任をとってくださる」とは、私が伝道師として遣わされる時に与えられた言葉ですが、戸惑いながらもこの神に信頼し、諸教会の祈りに支えられて、重責を果たしたいと願っています。

ところで、「教区設立当初の志」とは何でしょうか？ そう、設立時から毎年度必ず教区宣教活動計画の冒頭に掲げられてきた三本柱のことです。

1. 積極的に福音伝道をする教区

2. 諸教会が互助に務め連帯する教区
3. 社会の課題に取り組み、地域に奉仕する教区

この三本柱の下、教区の歩みも15年目となりました。

今、改めて「教区設立の志（使命）」を思い起こしています。それはこの三本柱が決して西東京教区だけのために掲げられたのではない！ということです。これまで多くの方々から「東京教区から独立し、お互いに顔の見える教区になってよかったです。これで伝道が推進しますね」と言われてきました。確かにそうでしょう。この財政難の厳しい時代に全教区を挙げて立川開拓伝道を決議し、また、かつての親教会群伝道（有志の教会が親教会となり、開拓伝道を支える制度）を八王子ベテル伝道所で復活させるなど、教区設立の恵みは大変豊かなものがあります。

しかしそれを西東京教区だけではなく、教団全体を生かす恵みにしなければなりません。忘れもしない、1998年の東京教区総会に上程された西東京教区設立のための議案名は「東京教区再編に関する件」でした。つまり西東京

教区（当時の西支区）が勝手に独立したのでなく、それにより東京教区がより豊かに再編されることが目的だったと信じています。その議案が多くの支持を得て可決、その年の教団総会でも圧倒的支持を得て可決され、西東京教区が誕生しました。その瞬間、私は議場で友人と手を取って喜び合いましたが、同時に、これは日本基督教団全体を更に豊かに生かすための神様の決定であること、その使命が西東京教区に与えられたことを痛感しました。

この教区は教団17番目の最年少教区として今も形成途上にあります。だからこそ、勝手に独自の歩みをする教区ではなく、「伝道・連帯・奉仕」において全体教会である教団を生かす教区形成を志したいのです。

今後も立川開拓伝道や他教区との交流、また東日本大震災被災地へのボランティア派遣を継続しますが、どれもが主の体なる教団を生かし、諸教会に仕える西東京教区の働きとして用いられますように。

（相愛教会牧師）

按手礼受領教師自己紹介



牧師
北村 智史
東京府中教会主任担任教師

この4月より、東京府中教会に主任担任教師として赴任しました北村智史と申します。大阪府堺市で生まれ、28年間そこに住みました。大学院を卒業して最初の赴任地も兵庫県西宮市でしたので、東京に住むのは今回が初めてです。こちらに来て、初めて自分が関西弁を話していることを意識させられたり、路線のややこしさに翻弄されたりと、戸惑うこともありますが、教会員の方々に温かく見守られながら元気に牧会に励む日々を過ごしています。

まだまだ至らぬところの多い若輩ですが、どうぞよろしくご指導いただければ幸いです。

准允受領教師自己紹介



伝道師
武井 アイ子
信愛報恩会付伝道師
清瀬信愛教会協力教師

准允を受けて感じた事は私が担った荷はイエス・キリストが担った重たい荷に比べるならば、遙かに比べようも無い程に軽い荷である事、しかし確かに主イエスの荷と同質の荷であり、しかしそれはだんだん重い荷になって行くかもしれない荷だと言う予感でした。

私たちは按手への途上にあり、按手は日本の教会、先輩諸先生方、東神大の教授達の期待であり神様の御要求と実感させられました。上記の務めを感謝と祈りと主の助けを仰ぎつつ歩みたい。



伝道師
中村 恵太
十貫坂教会主任担任教師

この春に東京神学大学大学院を修了し、十貫坂教会に遣わされました。故郷

は宮城県の仙台ですが、20歳で東京に来て以来合計6年間、十貫坂教会にお世話っていました。まさかこれまでも世話になっていた教会に遣わされるとは思っておらず、当初は驚きを隠せませんでしたが、周囲の励ましと祈りに支えられてこれまで歩んできました。西東京教区も馴染みある教区のため、つい解った気になります。改めてこの地に遣わされた意味を捉え直し、私を召した主に仕えて行きたいです。皆様、これからどうぞよろしくお願ひいたします。



伝道師
野々川 康弘
東京新生教会担任教師

私の召命は19年前、ルカ5章10節「今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」との御言葉を与えられたことに遡ります。糸余曲折ありましたが、この召命の志が主の憐れみによって守られ、現在に至っています。私は東京聖書学校を卒業して、現在、東久留米市にある東京新生教会で、伝道師として仕えさせて頂いています。これも祈りに支えられているからこそ出来ることだと、つくづく思われています。私がますます伝道に熱く燃えることが出来るように、沢山のとりなしのお祈りを宜しくお願ひ致します。



伝道師
堀川 樹
阿佐ヶ谷教会担任教師

高校3年の時に受洗した私は大学進学のために新潟から上京し、大学生活、神学校での生活の8年内、7年をこの西東京教区の教会で信仰生活を過ごさせていただきました。その教区で准允の恵みに与り、伝道者としての第一歩を阿佐ヶ谷教会で始めることは出来るのは感謝と喜びに他なりません。主の恵みによって整えられ、キリストと教会にそして教区へと精一杯奉仕したく願っております。祈り、祈られるというその関係性を大切にし、福音を宣べ伝えるべく、主による交わりをよろしくお願ひ致します。



伝道師
宮寄 薫
国立教会担任教師

このたび国立教会の担任教師（伝道師）に就任いたしました宮寄 薫と申します。3月に東京神学大学を卒業し、5月に教団補教師の准允を受けました。ついに教会に遣わされたのだという感激と、その使命の重さと喜びを味わう日々です。人生の後半生を賭ける最上のものが自分に用意されていたこと、取るに足らぬ者をこのように用いてくださる主がおられることに驚き、感謝しています。ことし受洗30年目、三鷹市在住15年目を迎えます。大好きな地元の西東京・多摩地域の教会にお仕えできて幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

新着任教師自己紹介



牧師
安倍 愛樹
久我山教会主任担任教師

本年4月より、久我山教会に着任しました安倍愛樹と申します。私は昨年度まで東京教区西南支区におりましたが、母教会は西東京教区の更生教会で、その意味で出身教区（当時は支区）に戻ってきたことになります。就任式においても近隣教会や関係教職の方々にとても温かく迎えられ、出てきた所に帰って来た、そんな懐かしいような思いを抱いております。これからも教区の交わりに加えていただきながら、久我山の地に仕える教会・牧者として歩んでいきたいと願っております。どうぞ宜しくお願ひいたします。



牧師
五十嵐 成見
花小金井教会主任担任教師

4年間伝道師として、また牧師としてお仕えした阿佐ヶ谷教会から、同じ教区の花小金井教会主任牧師として招聘を受

けました。御言葉（説教）による「慰めの共同体」の形成・牧師だけでなく教会員相互に牧会しあう愛の業に努めてまいりたいと願います。罪の悔い改めに生きながら、罪赦された者としての喜びを、礼拝ごとに味わうことを何よりも大事にしていきたいと思います。花小金井教会は隣地購入のための献金を募っております。どうぞ、お祈りに覚えてくださり、献金をお献げいただければ、まことに幸いに存じます。教区の皆様、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



牧師
伊藤 多香子
玉川教会主任教師

（勤めている学校の生徒たちの言葉で言うと）「聖書って面白い！」こと、また「聖書はわたしのことをよく知っている」ことを、中高生に伝えたいと願い、大学を卒業後に、聖書科教師として歩み始めました。後にその道は、牧師として歩む道に続き（学校での務めを継続しながらになりますが）この度、玉川教会につながりました。どのような時代においても「変わることのない主の言葉」を、こどもたち、中高生、そして誰に対しても、伝えるものとして、仕えていきたいと願っています。どうぞ、お祈りください。



牧師
稻垣 裕一
小平学園教会主任教師

牧会 25 年を機会に招聘を受けました。沖縄、山口、東京の教会に仕え、教区に来て 7 年目です。社会部委員を 2 期 4 年して、今期は無役なので、新任地に専念できると喜んでいます。

就任式が 6 月 16 日にあり、教区三役はじめ 18 教会 50 名が出席してくださいました。教区総会前、真壁副議長に申し込みましたが、議長に選出されて司式をされました。神様の恵みと教会の信仰深さを感じます。来賓の挨拶で、貴教会は個性的だが新牧師もかなり個性的だという言葉を頂戴しました。与えられた個性とタラントたちと、楽しみながら出会う

ことを願っています。



牧師
宇野 信二郎
東村山教会主任教師

全国連合長老会及び改革長老教会協議会の人事によって、10 年間お仕えした横浜大岡教会から転任をして参りました。就任決定後、今日までのことを振り返る時、背後にある教会の祈りと、何より主ご自身の献身によって、赦されて奉仕を積み重ねることの出来ていることを、ただ感謝致します。かしらなるキリストの召し給う限り、力を注ぎ尽くしたいと願っています。教区に於いては、私たちの受け継いで来た教会の信仰を告白しながら交わりに加わることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



牧師
鈴木 重正
東中野教会主任教師

東中野教会に赴任して参りました鈴木重正です。着任は 1 月。積雪もある厳寒の日々が続き、驚きました。教会はとても心暖かく迎えてくださり、新しい希望の内に喜びに満ちたスタートを切ることが出来ました。就任式には多くの近隣教会牧師が来てくださり、恵まれて感謝であります。もう一つの驚きは、冬空の青さでした。かつての任地の空、スイスの空も思い起こさせる澄んだもので、各地にある主の教会は、みな主の祝福の下に在ることを感じさせるものでした。趣味は音楽、木工、野外活動、芽生えなど。どうぞよろしくお願ひいたします。



牧師
須田 拓
東京神学大学神学教師

このたび東京神学大学常勤講師（組織神学）として神学教師に加えられました。神学校卒業と同時に、徒歩 3 分ほど

で東京都に入る場所に位置し、西東京教区から最も近い神奈川教区の教会の一つである橋本教会に遣わされ、以来、途中 5 年弱の留学期間を含みますが 13 年間、牧師として奉仕して参りました。橋本教会の主任担任教師を兼務いたしますが、同時に神学的奉仕と神学生教育を以て、日本の教会が健全に形成され主の福音がさらに力強く伝道されて行くために、微力ながら精一杯仕えてゆきたく思います。



牧師
田村 博
調布教会主任教師

「東京教区南支区の田園調布教会から調布教会へまいりました、河村博先生の後任の田村博です。」—このように自己紹介するたびに、神さまはユーモアあふれるお方でいらっしゃるとつくづく感じます。去る 6 月 9 日には、新会堂献堂式をおささげすることができました。祈りとお支えを心より感謝いたします。新会堂の 3 階部分に牧師館があり、この春長男は大学を卒業し独立しましたので、妻と 2 人の娘（大 3 & 中 1）と共に 4 人暮らします。自然の残る調布の地にてネイチャーウォッキングにトライしつつ、主の召しにお応えしたいと思います。



牧師
千原 創
八王子ベテル伝道所主任教師

「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」マタイ 18 章 20 節。歩み始めたばかりの伝道所ですが、主が豊かに養って下さることを信じ、数名の礼拝を行っています。「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる。だから、あなたを襲って危害を加える者はない。この町には、わたしの民が大勢いるからだ。」使徒言行録 18 章 9 節～10 節。欠けの多い伝道者であるからこそ、福音の恵みにより、主の栄光と力に支えられ、神と共に生きて行きたいと願います。

西東京教区「祈りのカレンダー」

2013年9月15日～2014年1月18日

西東京教区の宣教の三本柱である「積極的に福音伝道をする教区」、「諸教会が互助に努め、連帯する教区」、「社会の課題に取り組み、地域に奉仕する教区」を受け、教区諸教会・伝道所・関係諸団体の課題を覚える「祈りのカレンダー」を作成して祈りの交わりを願っています。併せて今年度の教区宣教活動計画に掲げられた、「立川開拓伝道の積極的展開」、「教区青年活動の充実」、「他教区との交流」、「東日本大震災被災教区への継続的支援」を覚えてお祈りください。

(教区伝道部委員長 有馬尊義)

教区の祈り

2013年

- 9月 高齢化・少子化問題
- 10月 政教分離及び信教の自由の問題
- 11月 平和・基地問題
- 12月 人権問題

2014年

- 1月 教区内幼稚園・学校・施設との協力関係

9月15日～21日

東北教区被災者支援センター・エマオ

〒 980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6
(エマオは、「寄り添い=スローワーク」と「お祈り」を大切に、これからも活動をつないでいきます。引き続き、お祈りとお力添えでお支えください。)

【祈りの課題】

東日本震災から三度目の夏を迎える。傷を負いながら生活されている被災者お一人お一人に、支えが与えられますように。

9月22日～28日

立川からしだね伝道所

〒 190-0011 立川市高松町3-13-22 春城ビル2／牧師・真壁 巖(代、相愛教会)／創立2013年1月20日／現住陪餐0／礼拝(夕)出席27／祈祷会出席5／CS出席0／予算344万円

【祈りの課題】

教区総会決議によって始まった伝道所です。今後、朝礼拝の開始と専従牧師の招聘、洗礼者と転入会者が与えられることを祈っています。

9月29日～10月5日

日野台教会

〒 191-0062 日野市多摩平4-8-4／牧師・稻田勝之／創立1948年／現住陪餐111／礼拝出席62／祈祷会出席8／CS出席18／予算1081万円

【祈りの課題】

教会と幼稚園が一体となって神様の愛を証しすることができますように。靈と真理をもって礼拝を捧げる群れへと導かれますように。

10月6日～12日

昭島教会

〒 196-0022 昭島市中神町1232-5／牧師・石川献之助、伝道師・牧内寛助／創立1951年／現住陪餐82／礼拝出席42／祈祷会出席6／CS出席14／予算585万円

【祈りの課題】

様々な分野から救いを求めて来会される方々激増。これらの方々が受洗まで導かれるように、また高齢の方々への配慮が課題です。お祈りください。

10月13日～19日

拝島平安伝道所

〒 196-0004 昭島市緑町1-7-2／牧師・吉村 謙／創立1988年／現住陪餐8／礼拝出席7／予算150万円

【祈りの課題】

先人の信仰を学び、信仰の継承を大切にし、地域にキリストを証しすることが出来ますように。

10月20日～26日

福生教会

〒 197-0022 福生市本町3／牧師・安田昌英／創立1952年／現住陪餐75／礼拝出席54／祈祷会出席11／CS出席9／予算973万円

【祈りの課題】

不自由な生活を強いられている高齢会員が、再び礼拝に集えるように。未陪餐会員が信仰告白に導かれるように。青年たちが礼拝へと導かれるように。

10月27日～11月2日

河辺伝道所

〒 198-0036 青梅市河辺町7-2-32／牧師・久山庫平／創立1967年／現住陪餐12／礼拝出席13／CS出席13／予算192万円

【祈りの課題】

現在の私たちの願いは、伝道所から教会になることです。また教会員の方々が年を重ねてこられるので、お互いに支えあって礼拝を守っています。

11月3日～11月9日

青梅教会

〒 198-0042 青梅市東青梅3-10-4／牧師・有馬歳弘／創立1888年／現住陪餐49／礼拝出席31／祈祷会出席4／CS出席6／予算724万円

【祈りの課題】

①新会堂が与えられて三年目になります。多くの教会の祈りとお支えを忘れることが出来ません。②高齢化する会員のこと。③伝道が進みます様。

11月10日～16日

五日市伝道所

〒 190-0152 あきる野市留原822-5／牧師・野口 敬／創立1945年／現住陪餐19／礼拝出席15／CS出席4／予算342万円

【祈りの課題】

①地域伝道の進展。②CS、青年活動の活性化。③イエス・キリストを礎とした、信仰による教会の一致。

11月17日～23日
久我山教会

〒168-0082 杉並区久我山2-13-3／牧師・安倍愛樹／創立1989年／現住陪餐55／礼拝出席35／祈祷会出席10／CS出席1／予算652万円

【祈りの課題】

創立以来「みことばに堅く立ち、ともに祈る教会」であることを大切にしてきました。常にこの原点に立ち返り、豊かな礼拝を守り、地域に仕える教会でありたいと願っています。

12月8日～14日
永福町教会

〒168-0064 杉並区永福2-55-2／牧師・高柳竜二／創立1877年／現住陪餐53／礼拝出席38／祈祷会出席7／CS出席52／予算873万円

【祈りの課題】

喜びある礼拝が捧げられますように。そのために、み心にかなった会堂建設ができますように。

11月24日～30日
高井戸教会

〒168-0071 杉並区高井戸西1-27-18／牧師・七條真明／創立1897年／現住陪餐150／礼拝出席89／祈祷会出席10／CS出席50／予算1663万円

【祈りの課題】

数年後に教会堂の比較的大きな補修を実施するべく検討を始めました。将来に向けて教会員皆が心を一つにして歩めますように。

12月15日～21日
和泉教会

〒168-0063 杉並区和泉3-27-5／牧師・山下裕三／創立1877年／現住陪餐63／礼拝出席43／祈祷会出席14／予算944万円

【祈りの課題】

和泉の地に教会がたてられて71年目を迎えます。地域にある教会として宣教の業を推進していくようお祈りください。

12月1日～7日
上高井戸教会

〒168-0072 杉並区高井戸東2-3-4 東京家庭学校内／牧師・高井 賢／創立1949年／現住陪餐20／礼拝出席8／CS出席9／予算224万円

【祈りの課題】

社会福祉法人東京家庭学校と共存する教会です。より地域と密着した「訪れやすい教会」を目指して参りたい所存です。

12月22日～28日
桜ヶ丘教会

〒168-0073 杉並区下高井戸3-2-9／牧師・朝位真士(主)、朝位フミ子／創立1923年／現住陪餐48／礼拝出席30／祈祷会出席6／CS出席5／予算671万円

【祈りの課題】

礼拝人数の増加・祈祷会出席の増加・求道者が受洗出来る様、高齢者の健康が守られる様、信仰継承がなされる様。

12月29日～1月4日
仙川教会

〒182-0003 調布市若葉町2-27／牧師・大串 肇／創立1965年／現住陪餐126／礼拝出席92／祈祷会出席6／CS出席29／予算1224万円

【祈りの課題】

2015年宣教50年に向けて、会堂建築を目指して祈っています。この器を通して「地の果てまで」伝道できますようにお祈りください。

1月5日～11日
狛江教会

〒201-0003 狛江市和泉本町1-16-12／牧師・岩田昌路／創立1956年／現住陪餐189／礼拝出席140／祈祷会出席25／CS出席16／予算2336万円

【祈りの課題】

①多くの受洗者が起こされるために
②牧会の新たな展開のために③全体教会に仕える教会であるために④会堂建築の幻の実現のために

1月12日～18日
和泉多摩川教会

〒201-0014 狛江市東和泉4-8-7／牧師・山室眞平／創立1969年／現住陪餐9／礼拝出席6／祈祷会出席0／予算309万円

【祈りの課題】

福音を広めることによって和泉多摩川の地域に根ざした教会として歩むこと、新会堂建築負債が完済できることを祈っております。

西東京教区伝道協議会のご案内

日 時：11月22日（金）～23日（土・休）
会 場：富士箱根ランド スコレープラザホテル
主 題：「祈り—聖靈に導かれて—」
講 師：加藤 常昭 先生（説教塾主宰、元東京神学大学教授、元鎌倉雪ノ下教会牧師）

9月末頃にご案内を教会宛てに送らせていただきます。奮ってご参加ください。

教 会 往 来

18年間の祈りの結実である新会堂の献堂式を、去る6月9日（日）午後3時より、教会員45名、真壁巖教区議長を含む来賓55名、計100名の出席のもとおささげすることができました。詩編127編1の御言葉に導かれてこのたびの完成に至りましたが、「礼拝を大切にする教会」「交わりを大切にする教会」「信仰の継承を大切にする教会」「伝道する教会」として、引き続き主が示されるところに大胆に従ってゆきたいと願っております。
(調布教会牧師 田村 博)





牧師
土橋 晃
新生教会主任担任教師

5年前に隠退しました。45年間の牧師生活に区切りをつけ、「自由を説く割には不自由だった」などと皮肉っぽく回想しつつ、これからはゆっくり余生?を送ろうと思っていました。ところがどうして、人生は予定どおりにはいきません。

牧師の休暇や無牧教会のお手伝いをしているうちに、「現役復帰」という羽目になってしまいました。生来の怠け者を神さまは強制的に用いられるとき、感謝しなければなりませんまい。

紅葉坂、桐生東部、原宿の歴任に新生教会が加えられたことに主の恵みを思います。



牧師
長山 道
東京神学大学神学教師

4月に東京神学大学の常勤講師になりました、長山道と申します。2002年に同大学修士課程を修了し、目黒区の柿ノ木坂教会で担任教師を務めました。その後この3月までドイツのボン大学で組織神学を専攻し、マルティン・ケーラーの倫理学について博士論文を執筆しておりましたが、この度思いがけずキリスト教教育学を担当することを求められて帰国し、現在大急ぎで教育について一から勉強中です。伝道者養成という新たに与えられた使命を通じ、福音伝道の業に与らせていただくことができ幸いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



牧師
西川 幸作
永山教会主任担任教師

今年度より、大塚忍先生の後任といたしまして永山教会に着任いたしました西川幸作です。6月23日(日)には真壁巖教区議長の司式により牧師就任式をも

たせていただきました。

前任地は関東教区新潟地区にあります三条教会で、8年間歩ませていただきました。

大阪で生まれ、新潟に赴任するまでの間も大阪で育ちました。趣味はテニス、読書、野球観戦です。小さき欠けの多い器ですが、どうかよろしくお願ひいたします。



牧師
宮島 牧人
原町田教会主任担任教師

「牧師は孤独だなあー」と思うことがある。西東京教区にあります何人の諸先輩牧師を前にして、そのようにつぶやいてもよいのだろうかと思うのだが……。でも、この孤独があるから、一人になって神様のことを思い、福音を語るという、ある意味で畏れおおいことができるのかもしれない。一つのところに長くいれば、それだけ人間関係は深まり、自分はこの教会に、この人たちに必要とされていると思うのかもしれない。けれども、離れてみて少し考える時が与えられ、改めて孤独は牧師にとって大切なことだと思った。



牧師
山田 恵子
ひばりが丘教会主任担任教師

私はこの4月より「ひばりが丘教会」に参りました山田恵子です。前任地の西条教会(愛媛県)には17年おりました。神学校以来28年ぶりの東京ですが、この辺りは自然も残っており、とても過ごしやすい所です。何より教会の方々とこの3ヶ月、心を一つにして礼拝、聖研析祷会、伝道集会などをなすことができ本当に感謝しています。隠退教師である夫、野村幸男にも助けられつつ二人三脚で日々過ごしています。西東京教区の皆様と共に祈りつつ伝道のために励んでいきたいと思っております。これからもよろしくお願ひいたします。

※河村博先生は、調布教会から、高円寺教会主任担任教師として招聘をお受けになりました。10月から赴任予定となっています。

新常置委員自己紹介

初めて常置委員になられた方々に自己紹介を書いていただきました。



内堀 恵子
相愛教会信徒

主の御旨のままに用いられる様祈りつつ、常置委員の諸先生、諸先輩に教えをいただきながら努めてまいります。受洗して33年、受洗後1年半でN.Y.へ夫の転勤で移り、3年間家の前の聖公会の教会に通いながら当時日基から派遣された浅田容子先生の日本人特別伝道にも導かれ、幼児連れの家庭集会を家で2年間持たせていただきました。帰国後、娘が通っていた相愛幼稚園の聖書の会から、卒園後は我が家で家庭集会を持たせていただき、及川牧師より真壁牧師に引き継がれ現在に至っています。教会では神様への恵みの応答として、相愛のお母ちゃん、ごはん作りをさせていただいています。宜しくお願ひいたします。



中川 義幸
阿佐ヶ谷教会信徒

教会で結婚式を挙げたにもかかわらず、教会には見向きもしなかった私の妻は、還暦をはるかに過ぎたある日、突然阿佐ヶ谷教会で受洗すると言い出しました。神様の深い御業に心が震え、当時所属していた千葉の教会からもそれならと快く転会を認めて頂きました。

それから僅か3年余、初めて教区総会に出席した今年、突然思いもよらず常置委員を拝命することとなりました。まるで神様から「貸しがある。私のために働く。」と言われている如くです。未熟で菲才ですがよろしくお導きください。

第28回 教区総会(定期)報告

教区総会書記 七條 真明

第28回西東京教区総会(定期)が、去る5月26日(日)から27日(月)、国分寺教会を会場に行われた。正議員212名中、128名の出席を確認して、開会が宣言された。

組織会終了後、「按手礼に関する件」「准允に関する件」が上程され、いずれも満場一致で承認された。

その後、開会礼拝が捧げられた。礼拝の中で、按手式・准允式が行われた。按手は、北村智史教師(東京府中教会)が受領。准允は、武井アイ子教師(信愛報恩会)、中村恵太教師(十貫坂教会)、野々川康弘教師(東京新生教会)、堀川樹教師(阿佐ヶ谷教会)、宮寄薰教師(国立教会)の5名が受領した。また、礼拝の中では、前回の定期教区総会で初めて行われた聖餐式が今回も執行され、共に聖餐に与る恵みの中で教区総会が行われたことは誠に感謝であった。

開会礼拝の後、総会議長報告・常置委員会報告がなされた。新たな委員会として宣教委員会の下に設置された教区音楽祭委員会に関する質疑等がなされた。教区総会議長選挙が行われた後、夕食休憩に入った。

夕食後、教区総会議長選挙の結果が報告され、新たな議長として真壁巖議員(相

愛教会)が選出された。真壁新議長の挨拶の後、2期4年にわたって教区総会議長としての重責を担われた大村栄前議長による挨拶がなされ、新議長・前議長のために祈りがなされた。

教区総会副議長選挙が行われた後、2012年度の各部・各常設委員会・各自主活動団体・各地区的報告がなされた。途中、教区総会副議長選挙の結果が報告され、新副議長として山畠謙議員(小金井緑町教会)が選出された。直ちに、書記の選任が行われ、正副議長の指名により七條真明議員(高井戸教会)が再任された。

常置委員半数選挙が行われた後、財務関係の報告がなされ、1日目が終了した。

2日目の最初に、久山庫平教師(河辺伝道所)の司式により、6名の教師の追悼式が執り行われた。その後、新着任教師ならびに4月より新たに教区主事となった八木靖之教師(聖蹟桜ヶ丘教会)の紹介がなされた。昨年の定期教区総会以降、西東京教区内の教会・神学校・施設に着任した教師は、教区内での転任を含め20名であり、例年になく多くの教師が紹介された。

続いて、長崎哲夫教団総幹事による教団安使挨拶、来賓として在日大韓基督教会関東地方会の金健副会長ならびに東北教区被災者支援センター石巻エマオ教団派遣専従者である飯野久美子さんによる挨拶がなされた。飯野さんの報告においては、石巻エマオの活動が映像を交えて紹介された後、議事が再開され、総会特別委員による

報告等が行われた。

昼食後、常置委員半数選挙の結果が以下のとおり報告された。

○教師…大村栄(阿佐ヶ谷教会)、岩田昌路(狛江教会)、道家紀一(井草教会)。

○信徒…川原正言(南三鷹教会)、内堀怜子(相愛教会)、中川義幸(阿佐ヶ谷教会)。

「各部・各常設委員会委員選任に関する件」が上程され、可決。向こう2年間の各部・各常設委員会等の委員が選任された。

続いて、2013年度の宣教活動計画案および予算案が原案どおり承認された。なお、予算に関する議案に先立って、阿佐谷恵み伝道所の廃止に関する議案が上程され、承認された。

2013年度の宣教委員会・各部・各委員会等の活動計画が承認された後、「教団年金を守るための教区推進案に関する件」、「総会議事録承認に関する件」が順次上程され、可決された。

最後に、真壁巖新教区総会議長による祈祷がなされ閉会した。

(高井戸教会牧師)



村栄先生を始め阿佐ヶ谷教会に深く感謝します。

実行委員会のことですが、これまでに何度もチャリティコンサートを企画した経験が蓄積されており、今回は企画・準備・実行が比較的スムーズに行えたように思えます。教区の無形の財産ではないでしょうか。

参加者は約250名、バザー収益や献金を含め57万円(Tシャツ、トートバッグの収益は別途)を献金することができました。

(南三鷹教会牧師)



深く豊かな調和の音色に心を打たれた演奏

教区東日本大震災被災支援 チャリティコンサート報告

吉岡 喜人

(東日本大震災被災支援チャリティコンサート委員)

東日本大震災から約2年を経た2013年3月9日(土)、昨年に続き第2回目の東日本大震災救援募金・チャリティコンサートが阿佐ヶ谷教会で行われました。演奏してくださったのはキリスト者演奏家のグループであるユオーディアのメンバーの蜷川いづみさん(バイオリン)、奥山初枝さん(ピアノ)、井上とも子さん(チェロ)のトリオでした。奥山初枝さんは阿佐ヶ谷教会の教員でオルガニスト、井上とも子さんは阿佐ヶ谷教会出身の教団教師であり、西東京教区に結びつきの深い演奏者でした。

当日は、東日本大震災救援に大きな働き

をしてくださっている台湾長老教会の布興大立(プシン・ターリ)議長が来場してくださり、連帯と励ましの言葉をいただきました。このコンサートのために演奏者が選んでくださった曲はどれも素晴らしい、感動的な演奏に聴衆は聞き惚れていきました。

西東京教区のチャリティコンサートの名物になっているパウンドケーキやマドレーヌのバザーがありました。7つの教会から多くのケーキの献品があり、もしや余るのではないかと少し心配をしましたが、完売しました。また、募金委員会によってTシャツやトートバッグなどもチャリティとして販売されました。会場には最近の被災地の様子やボランティアの働きを写した写真パネルも掲示されました。会場の阿佐ヶ谷教会は2月の教区音楽祭と3月下旬の全体研修会の会場でもあり、連続して使わせていただきました。また、休憩時間にはコーヒーを販売して募金に加えくださいました。いつも快く会場を提供してくださる大

第14回 西東京教区 全体研修会 報告

陣内大蔵（全体研修会委員長）

主の御名を賛美します。

2013年3月20日（水・祝）に阿佐ヶ谷教会を会場にして開催されました「第14回西東京教区全体研修会」（西支区時代から通算38回目）。2012年度も無事に終えられたことをここに感謝申し上げます。

東日本大震災が発生してから2年。委員会では、その大きな傷を少しでも「自分たちのこと」として受け止められるようにと研修内容を考えました。震災直後の2年前は桃井和馬氏（写真家）をお招きし、ほぼリアルタイムで被災地の生々しくも悲惨な状況をご報告頂きました。知ることから始めた私達はその後、教区・教会・個人として様々な角度で被災地を支援し始めました。続く昨年度は奥田知志氏（東八幡教会牧師・北九州ホームレス支援機構理事長）をお招きし、その野宿者支援の手法を駆使した被災地支援のお話を具体的にお聞きし

ました。信仰に裏打ちされたそのお働きの素晴らしさを知り、私たち自身も背中を押され、各々のフィールドへ勇気と希望を持ち帰りました。続く2012年度。今回は『流浪の教会』として世界的にも有名になった「福島聖書第一バプテスト教会」の牧師・佐藤彰氏をお招きしました。事故原発から5キロの位置にあった教会。その教会が一つの群れとなって避難し続けた日々。その中から見え、感じてきたことを「震災で何を見たか～暗闇の向こうに光がある～」と題して講演してくださいました。映像も含めて私たちにシェアしてくださり、孤独感、孤立感、疎外感など、ご経験を丁寧にお話くださいました。小さな群れ、その老若男女の過酷な現実の前に私たちは正直言葉を失いました。今も続く被災の現実を受け止めました。しかし、そのような中でも希望を感じつつ感謝をもって歩んでおられる姿に、私たちは引き続きの祈りと支援の必要性を強く感じました。

なお、午前中の礼拝は井上とも子牧師（教団教師）を招いて、チエロ演奏とお話という豊かなメッセージ。また、子ども祝福と

成人祝福も礼拝の中で行われ、次世代・次々世代への想いもシェアできました。今年のミュージックタイムは柏江教会の西村姉のご奉仕で、「琴による讃美歌演奏」という魅力あるひとときでした。また、会場内にはいくつかのブースが立ち、教区内の情報交換の場となったり、被災地支援物販が行われたりと多くの交わりの場となりました。終わりに「キリストの風よ」を全員合唱して閉会。聖歌隊・手話通訳・託児・受付など多方面にわたる多くのご奉仕のおかげで主にある学びと交わりの時がもてたことを改めて感謝します。

* 参加人数（397名）、子ども祝福（10名）、成人祝福（3名）。礼拝献金303,720円（教区伝道献金と福島聖書第一バプテスト教会へ）。

（東美教会牧師）



行事案内

◆一日教師研修会（教師部主催）

日時：9月9日（月）10:00～14:30
テーマ：「私の教会形成のヴィジョン—長年の経験から—」

講師：久山庫平先生（河辺伝道所）
特別ゲスト：宮下重康兄（玉川教会）「営業の経験から」
場所：石岡記念教会
問い合わせ先：長谷川洋介牧師

（石岡記念教会）TEL 042-343-0228

◆奥羽教会交流キャンプ（SCF主催）

日時：9月17日（火）～23日（月・休）
内容：教会奉仕キャンプ 費用：20,000円
問い合わせ先：野田 沢主事

（学生キリスト教友愛会）TEL 03-5377-1503

◆『テゼ共同体・東アジア大会@韓国キャンプ』（SCF）

日時：10月2日（水）～6日（日）
内容：テゼ共同体のアジア大会に参加する
費用：実費（40,000円ほどを予定）
帰国後、報告会あり

問い合わせ先：野田 沢主事

◆東日本大震災支援委員会

各教会／伝道所の募金推進委員の打ち合わせ会
日時：10月5日（土）13:00～15:00
場所：阿佐ヶ谷教会
問い合わせ先：中篠曉彦兄 TEL 042-620-4580

◆『SCFes!』

日時：10月5日（土）16:00～21:00
内容：教会青年音楽祭
費用：500円
問い合わせ先：野田 沢主事（前出）

◆2013年度 第2回 西東京教区婦人全体集会

日時：10月11日（金）13:00～15:30
会場：国立教会

講師：左近 豊先生（聖学院大学）

問い合わせ先：寺澤縫子姉

◆アジア教会婦人会議日本委員会一日研修会

主題：「明日に向かうアジアの女性」

～主の呼びかけにこたえて～

日時：11月8日（金）10:30～15:00

会場：日本基督教団 富士見町教会

参加費：1,000円（昼食代含む）

申込締切：9月15日（日）

教区でまとめますので、9月10日位までに問い合わせ先にお願いいたします。

問い合わせ先：寺澤縫子姉（前出）

◆教会幼稚園保育園連絡会（教育部主催）

日時：11月19日（火）18:00～21:00

場所：中野教会・德育幼稚園

問い合わせ先：吉岡喜人牧師

（南三鷹教会）TEL 0422-46-4334

◆にじのいえ信愛荘チャリティコンサート

日時：11月23日（土）14:00～16:00

場所：東洋英和女学院マーガレット講堂（六本木）

出演者：青戸知（パリトン歌手）、一小路千花（ソプラノ）

問い合わせ先：西村佳子姉

◆教区音楽祭

日時：11月30日（土）13:00～

場所：阿佐ヶ谷教会

問い合わせ先：桑原良子姉

◆『SCF クリスマス 2013！』

日時：12月7日（土）15:00～21:00

内容：礼拝・劇など、若者たちで共に祝うクリスマス

費用：500円

問い合わせ先：野田 沢主事

◆中高生クリスマス会（教育部主催）

日時：12月下旬 詳細未定

問い合わせ先：竹前 治牧師

（清瀬信愛教会）TEL 042-491-0851

◆立川夕礼拝

日時：毎週日曜日 18:30～19:30

場所：立川からしだね伝道所

問い合わせ先：道家紀一牧師（井草教会）

TEL 03-3395-3026

◆立川開拓伝道をおぼえて祈る会

日時：毎月第4月曜日 14:00～

9月のみ第5月曜日（30日）になります。

場所：立川からしだね伝道所

問い合わせ先：道家紀一牧師

編集後記

2013年度から新しい教区報編集委員の下に、第43号の教区だよりをお届けいたします。西東京教区の宣教方針に則って、教会形成、また教区全体の伝道に資する紙面づくりを心がけていきたいと願っています。

東日本大震災から3年目になりますが、西東京教区は引き続きボランティア派遣を行っています。日本の痛みに寄り添う働きを大切にしていくものであります（五十嵐 成見）

2013年 夏（43号）

2013年8月19日発行

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南5-14-9

日本基督教団 西東京教区

発行人 真壁 巍

（TEL）03-5305-3991

（FAX）03-5305-4823

uccj-nishitokyo@jcom.home.ne.jp

<http://www.uccj-wt.org/>

編集 教区報編集委員会 五十嵐成見（長）／

木村智次／辻 宏／村山 めぐみ／吉村謙